

2020 年農林業センサス

調査の概要

1 調査の目的

2020 年農林業センサスは、我が国の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするとともに、我が国の農林行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的としています。

2 調査の沿革

我が国は、昭和 25 年の 1950 年世界農業センサス以降、10 年ごとに国際条約に基づく世界農業センサス（昭和 35 年からは、林業センサスも同時に実施）を行うとともに、その中間年に我が国独自の農業センサスを実施しています。

3 調査の根拠法令

統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 9 条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた基幹統計調査として実施しています。

4 調査の期日

令和 2 年 2 月 1 日

5 調査の対象

農林産物の生産を行う又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の「農林業生産活動」を行う者（組織の場合は代表者）を対象に行います。

6 調査の体系

- (1) 調査組織 農林水産省-都道府県-市区町村-統計調査員
- (2) 調査方法 オンライン調査又は調査員調査

調査結果の概要

◎前回（2015年）調査集計結果との比較により分析を行った。

1 農業経営体

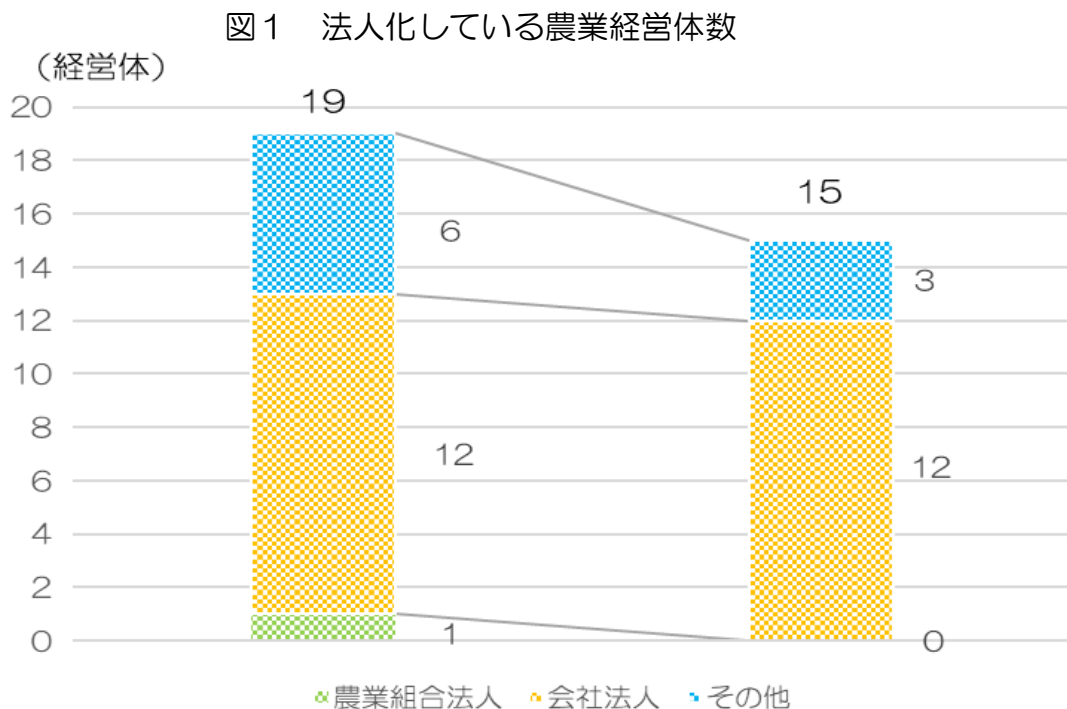
(1) 農業経営体数

農業経営体のうち、個人経営体は970経営体で、5年前に比べ306経営体(24.0%)減少し、団体経営体は16経営体で3経営体(15.8%)減少した。

表1 農業経営体数

	経営体数（経営体）		増減数 （経営体）	増減率 （%）	構成比（%）	
	平成27年	令和2年			平成27年	令和2年
農業経営体	1,295	986	△ 309	△ 23.9	100.0	100.0
個人経営体	1,276	970	△ 306	△ 24.0	98.5	98.4
団体経営体	19	16	△ 3	△ 15.8	1.5	1.6
法人経営体	19	15	△ 4	△ 21.1	1.5	1.5

団体経営体のうち法人経営体は15経営体で、5年前に比べ4経営体減少した。この結果、団体経営体に占める法人経営体の割合は93.8%となった。



(2) 経営耕地面積規模別農業経営体数

経営耕地面積規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前に比べ 3.0ha 未満の層では農業経営体数が減少したが、3.0ha 以上の層では増加した。

表2 経営耕地面積規模別農業経営体数

	経営体数（経営体）		増減数（経営体）	増減率（%）	構成比（%）	
	平成27年	令和 2年			平成27年	令和2年
計	1,295	986	△ 309	△ 23.9	100.0	100.0
経営耕地なし	17	15	△ 2	△ 11.8	1.3	1.5
0.3ha未満	142	132	△ 10	△ 7.0	11.0	13.4
0.3～0.5ha	367	293	△ 74	△ 20.2	28.3	29.7
0.5～1.0ha	528	362	△ 166	△ 31.4	40.8	36.7
1.0～1.5ha	152	110	△ 42	△ 27.6	11.7	11.2
1.5～2.0ha	44	35	△ 9	△ 20.5	3.4	3.5
2.0～3.0ha	34	26	△ 8	△ 23.5	2.6	2.6
3.0ha以上	11	13	2	18.2	0.8	1.3

※小数を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

図2 経営耕地面積規模別農業経営体数

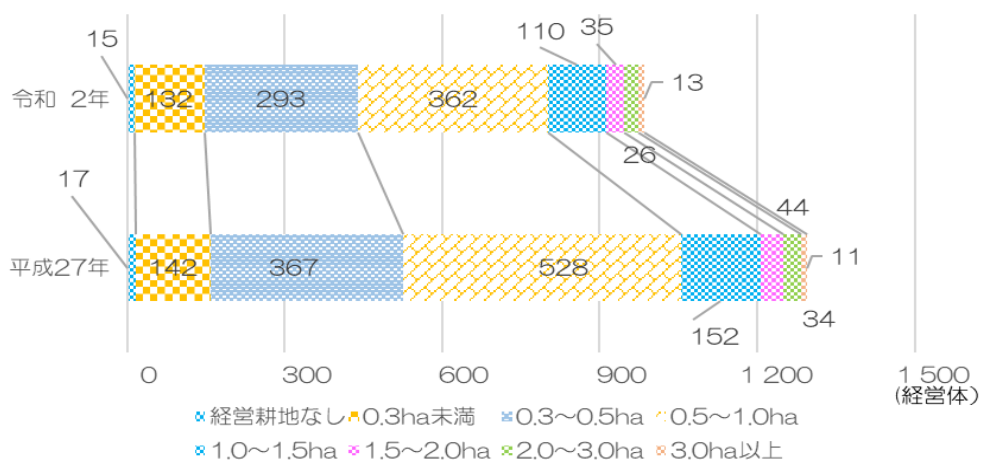
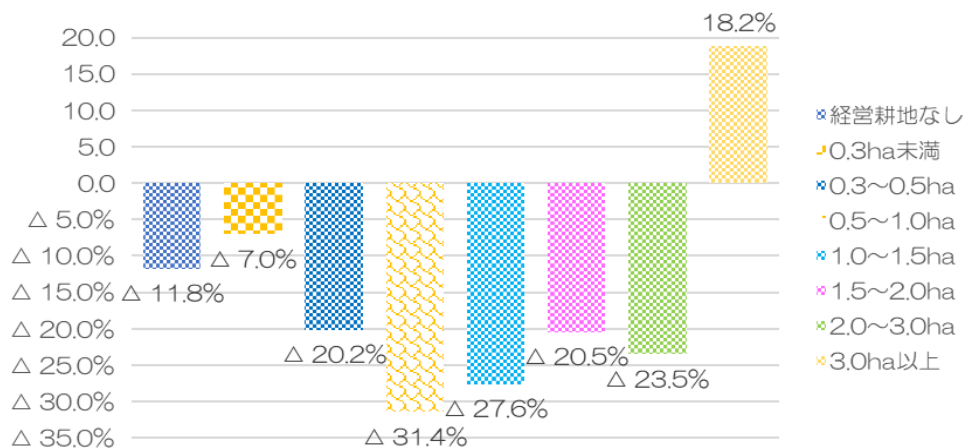


図3 経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率（R2/H27）



(3) 経営耕地面積の集積割合

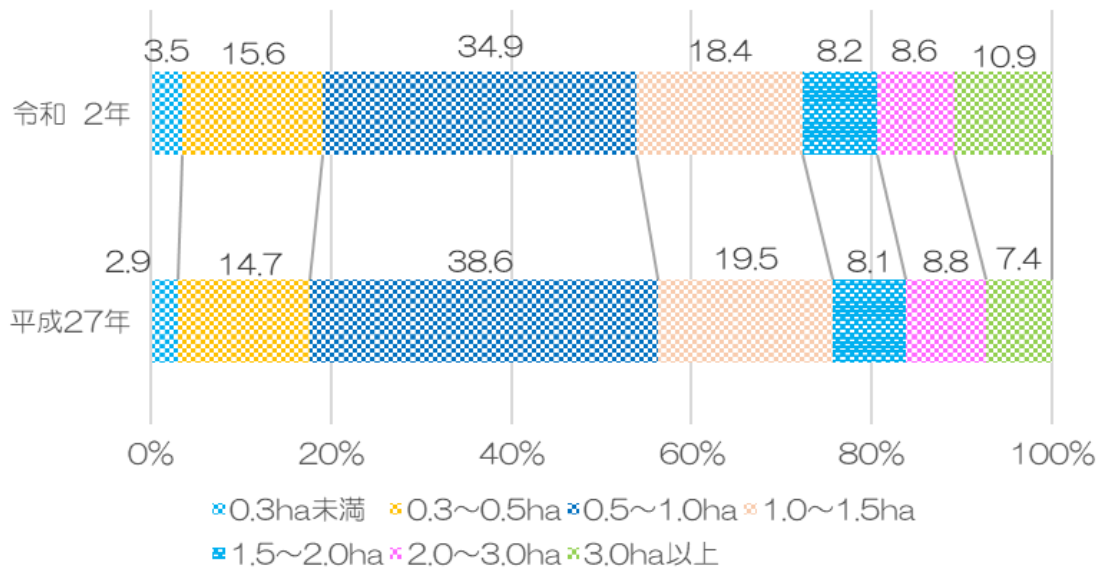
農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、1ha 未満の農業経営体が 53.9%を占め、5年前に比べ 2.3 ポイント減少した。

表3 経営耕地面積の集積割合

	経営体数（経営体）		増減数 （アール）	増減率 （%）	構成比（%）	
	平成27年	令和 2年			平成27年	令和2年
計	90,543	68,831	△ 21,712	△ 24.0	100.0	100.0
0.3ha未満	2,652	2,398	△ 254	△ 9.6	2.9	3.5
0.3～0.5ha	13,289	10,738	△ 2,551	△ 19.2	14.7	15.6
0.5～1.0ha	34,974	23,989	△ 10,985	△ 31.4	38.6	34.9
1.0～1.5ha	17,647	12,661	△ 4,986	△ 28.3	19.5	18.4
1.5～2.0ha	7,377	5,647	△ 1,730	△ 23.5	8.1	8.2
2.0～3.0ha	7,949	5,914	△ 2,035	△ 25.6	8.8	8.6
3.0ha以上	6,655	7,484	829	12.5	7.4	10.9

※小数を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

図4 経営耕地面積の集積割合の構成比



「集積」：農地を所有し、又は借り入れることにより利用する農地面積を拡大すること

(4) 農産物販売金額規模別の農業経営体数

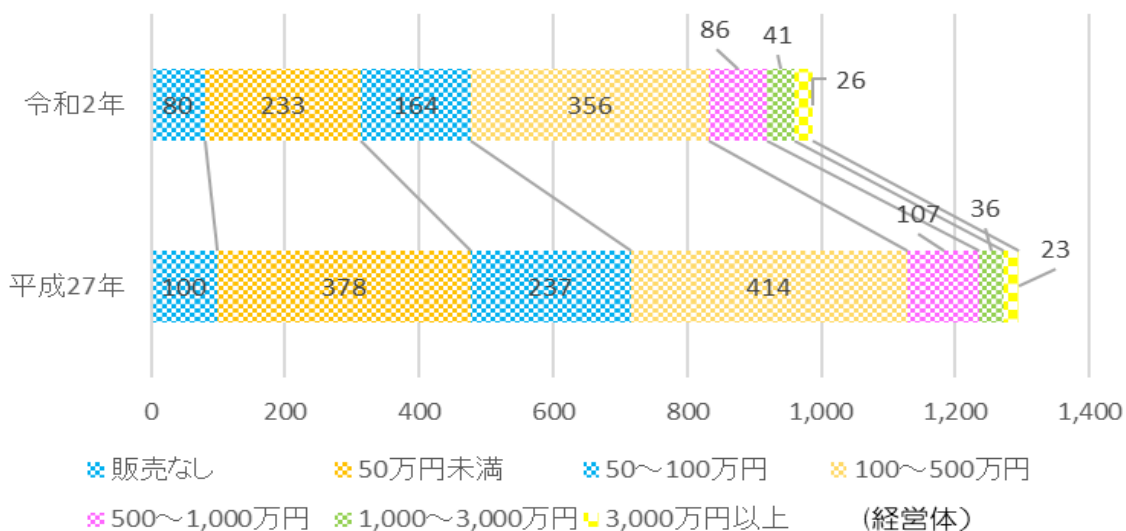
農産物販売金額規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前に比べ1,000万円未満の層では農業経営体数が減少しているが、1,000万円以上の層では増加した。

表4 農産物販売金額規模別の農業経営体数

	経営体数（経営体）		増減数（経営体）	増減率（%）	構成比（%）	
	平成27年	令和2年			平成27年	令和2年
計	1,295	986	△ 309	△ 23.9	100.0	100.0
販売なし	100	80	△ 20	△ 20.0	7.7	8.1
50万円未満	378	233	△ 145	△ 38.4	29.2	23.6
50～100万円	237	164	△ 73	△ 30.8	18.3	16.6
100～500万円	414	356	△ 58	△ 14.0	32.0	36.1
500～1,000万円	107	86	△ 21	△ 19.6	8.3	8.7
1,000～3,000万円	36	41	5	13.9	2.8	4.2
3,000万円以上	23	26	3	13.0	1.8	2.6

※小数を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

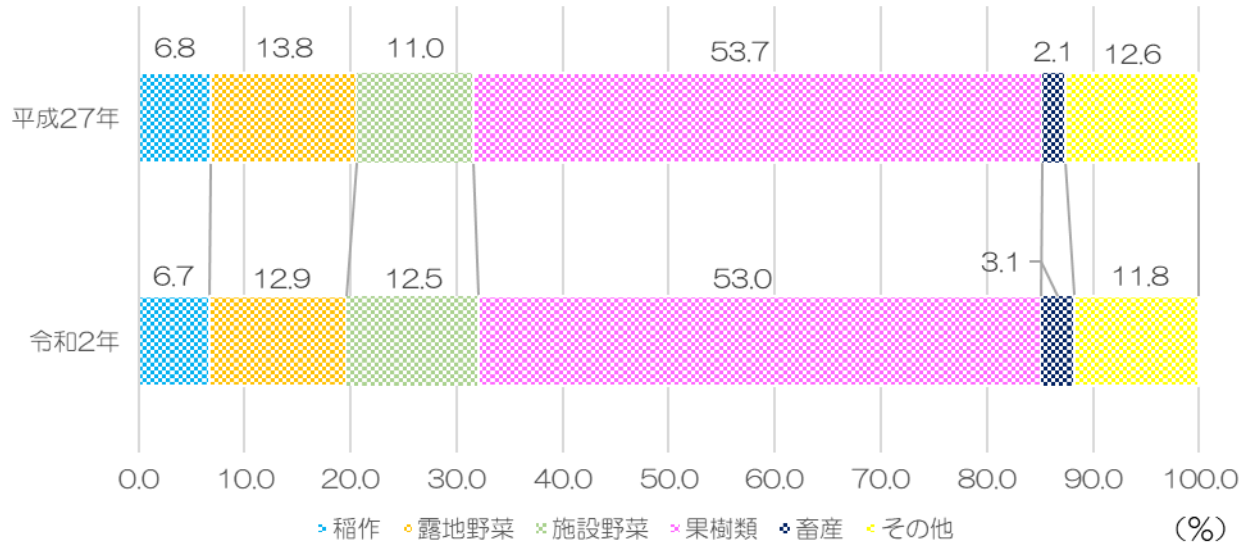
図5 農産物販売金額別の農業経営体数



(5) 農産物販売金額 1 位の部門別農業経営体数

農産物販売金額 1 位の部門別に農業経営体数の構成割合をみると、露地野菜は 12.9%となり、5年前に比べ 0.9 ポイント減少し、施設野菜は 12.5%と5年前に比べ 1.5 ポイント増加した。

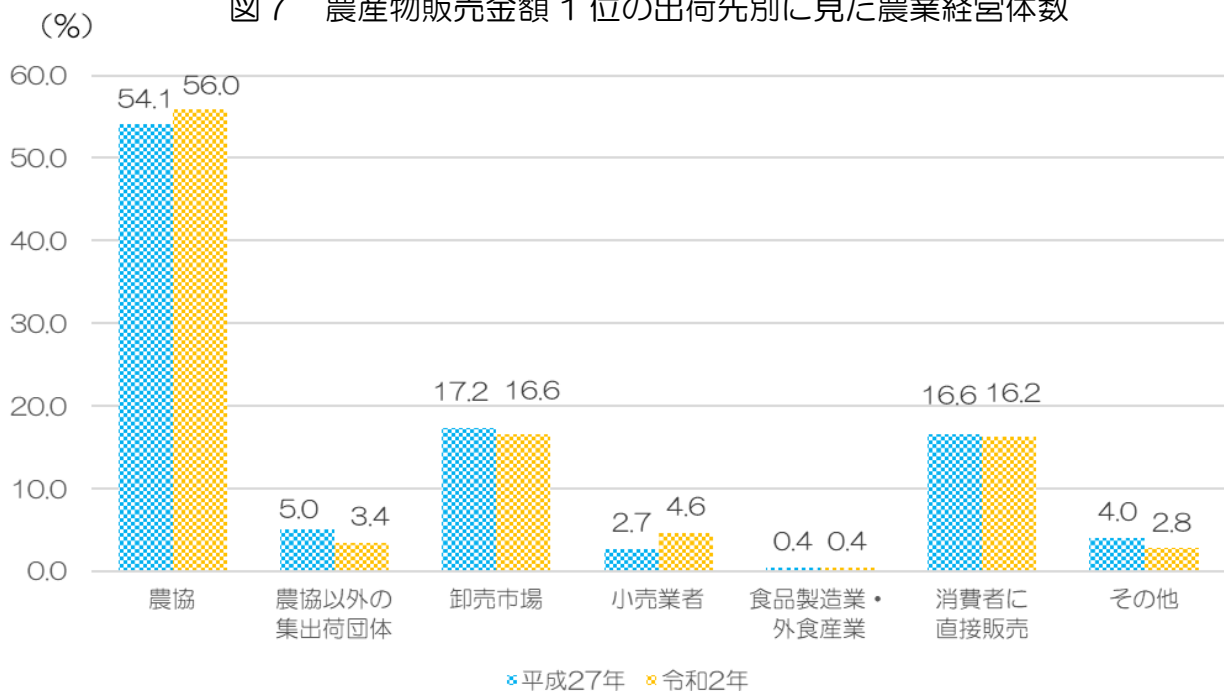
図6 農産物販売金額 1 位の部門別農業経営体数



(6) 農産物販売金額 1 位の出荷先別にみた農業経営体数

農産物販売金額 1 位の出荷先別に農業経営体数の構成割合をみると、農協が 56.0%となり 1.9 ポイント増加、次いで卸売市場が 16.6%で 0.6 ポイント減少、消費者に直接販売が 16.2%で 0.4 ポイント減少となった。

図7 農産物販売金額 1 位の出荷先別に見た農業経営体数



(7) 青色申告を行っている農業経営体数

青色申告を行っている農業経営体数は 349 経営体で、農業経営体に占める割合は 35.4%となった。このうち、正規の簿記を行っている農業経営体数は 170 経営体で、農業経営体に占める割合は、17.2%となった。

表5 青色申告を行っている農業経営体数

		個人経営体 (経営体)	団体経営体 (経営体)	構成比 (%)	
				個人経営体	団体経営体
計		970	16	100.0	100.0
青色申告 を行って いる	小計	338	11	34.8	68.8
	正規の簿記	159	11	16.4	68.8
	簡易簿記	148	0	15.3	0.0
	現金主義	31	0	3.2	0.0
青色申告を行っていない		632	5	65.2	31.3

※小数を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(8) データを活用した農業を行っている農業経営体

データを活用した農業を行っている農業経営体数は 109 経営体で、農業経営体に占める割合は 11.1%となった。また、団体経営の中で、データを活用した農業を行っている農業経営体数は 8 経営体で、団体経営体に占める割合は、50.0%となった。

表6 データを活用した農業を行っている農業経営体

		個人経営体 (経営体)	団体経営体 (経営体)	構成比 (%)	
				個人経営体	団体経営体
計		970	16	100.0	100.0
データを活用した 農業を行っている	小計	101	8	10.4	50.0
	データを取得して活用	70	1	7.2	6.3
	データを取得・記録して活用	25	4	2.6	25.0
	データを取得・分析して活用	6	3	0.6	18.8
データを活用した農業を行っていない		869	8	89.6	50.0

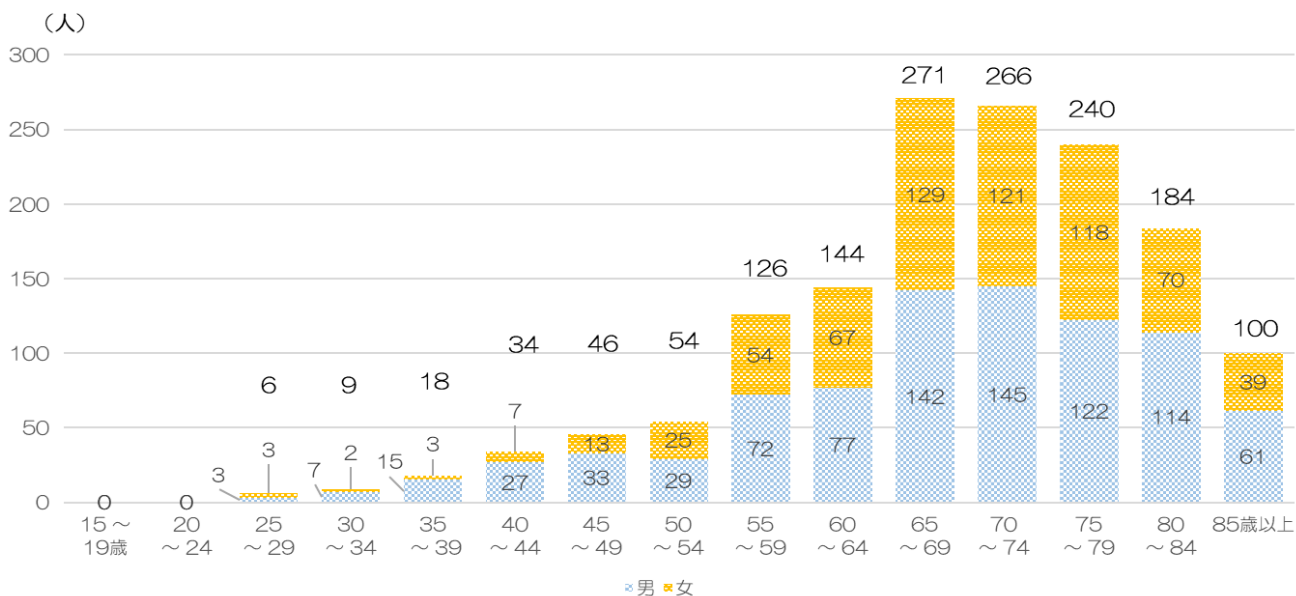
※小数を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(9) 基幹的農業従事者数（個人経営体）

年齢階層別に基幹的農業従事者（15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者）をみると、65歳から69歳の階層が271人と一番多く、次いで70歳から74歳の階層が266人と多かった。

このうち65歳以上が占める割合は、70.8%となった。

図8 基幹的農業従事者数（個人経営体）

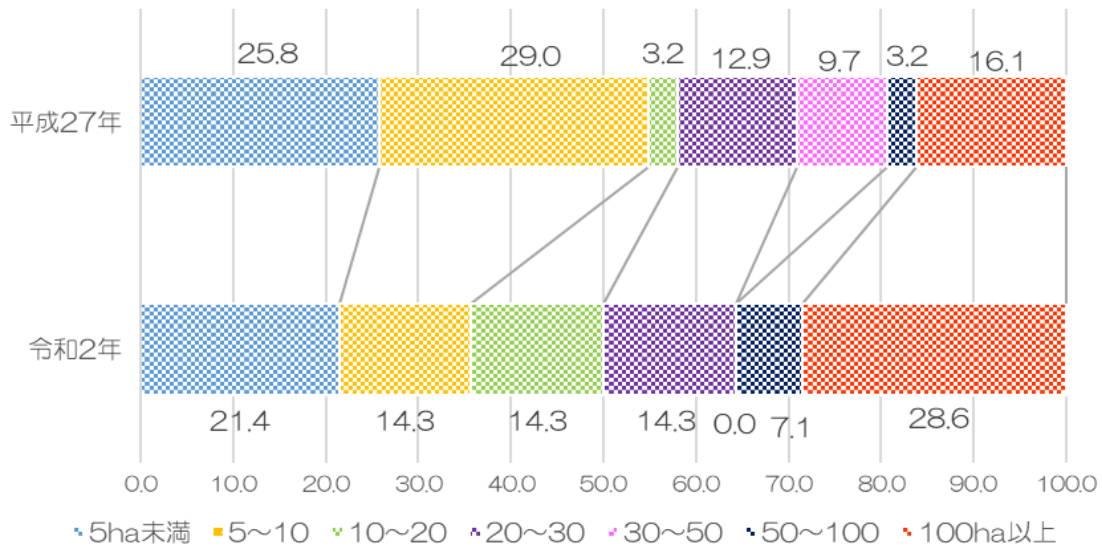


2 林業経営体

(1) 基幹的林業従事者数（個人経営体）

保有山林規模別に林業経営体数の構成割合をみると、100ha以上が28.6%、次いで、5ha未満が21.4%となった。

図9 保有山林面積規模別林業経営対数の構成割合



(2) 素材生産量の推移

林業経営体の素材生産量をみると、13,798 m³で、5年前に比べて1,187 m³減少した。また、林業経営体の素材生産量に占める受託もしくは立ち木買いの割合は88.7%となっている。

図10 素材生産量の推移

